

平成23年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,424	12,086	662	(注1)
うち補正予算による追加	41	41	0	
施設整備費補助金	890	1,058	168	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	62	706	644	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	47	47	0	
自己収入	21,008	21,424	416	
授業料、入学金及び検定料収入	3,946	3,949	3	(注4)
附属病院収入	16,917	17,316	399	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	145	159	14	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,771	2,163	392	(注7)
引当金取崩	81	70	△ 11	(注8)
長期借入金収入	240	417	177	(注9)
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	35,523	37,971	2,448	
支出				
業務費	30,543	29,875	△ 668	
教育研究経費	16,418	15,444	△ 974	(注10)
うち設備災害復旧事業	2	2	0	
診療経費	14,125	14,431	306	(注11)
施設整備費	1,177	1,522	345	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	62	706	644	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,771	1,619	△ 152	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,970	1,967	△ 3	(注15)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	35,523	35,689	166	
収入－支出	0	2,282	2,282	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として東日本大震災に伴う債務繰越及び複数年度に係る大型事業に伴う債務繰越をしたことなどにより、予算額に比して決算額が662百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として東日本大震災に伴う繰越額が発生したことにより、予算額に比して決算額が168百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金を獲得したことにより、予算額に比して決算額が644百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、入学志願者数が当初の見込みより多かったことにより、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増加、腫瘍内科における外来化学療法件数の増加及び放射線治療件数の増加により、予算額に比して決算額が399百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入及び特許料収入の増により、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金に係る当該年度の受入額の増により、予算額に比して決算額が392百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、主として附属病院における常勤職員に係る賞与引当金の減により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、主として東日本大震災に伴う繰越額が発生したことにより、予算額に比して決算額が177百万円多額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、主として人事院勧告による給与改定の据え置きに伴う人件費の減及び経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が974百万円少額となっています。
- (注11) 診療経費については、主として医療機器更新費及び医薬品費等に伴う一般診療経費の増により、予算額に比して決算額が306百万円多額となっています。
- (注12) 施設整備費については、主として東日本大震災に伴う繰越額が発生したことにより、予算額に比して決算額が345百万円多額となっています。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に対して決算額が644百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として寄附金における支出額の減等により、予算額に比して決算額が152百万円少額となっています。
- (注15) 長期借入金償還金については、利率の変動により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。